

東京薬科大学新聞 号外

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

号外

© 1989

東京薬科大学新聞会

発行所
東京薬科大学新聞会
責任者 嶋村 信孝

新聞会について

新聞会は、学生自治会に存する委員会の一つで、活動としては東京薬科大学新聞の発行や、今日配布した意識調査などをやっていきます。自治会内では立場上独立した機関で、比較的自由に活動することが出来ます。

大学新聞ともなると、ところによっては、政治・思想的なものも見られますが、われわれの場合そのようなものは一切含まれず、学内行事を中心として、学生に密着したものを発行しています。
活動日は、毎週火曜日の昼休みに編集会議が開かれますが、取材などそれ以外の活動は締切までは自主性に任せられており、自分のスケジュールに合わせて活動することも可能です。
以上、新聞会についてごく簡単に説明しましたが、少しは理解してもらえたでしょうか。本日は、皆さんから会員を募るわけですが、興味が持てたらずひ入ってほしいと思います。経験の有無は問いません。

せん。ワープロを打つてみたい、印刷機の使い方を覚えたい、企画をたてたいなど、少しでもやる気さえあればよいのです。どのクラブなどでも同じですが、きつと何か得られるものがあるはずですよ。

新聞会次期会長

中道 博之

世間は、消費税、リクルー問題と、てんやわんや。動乱。不審。マスメディアはそれを斬る。我が東京薬科大学新聞会は大学内の出来事を論じる。学生主張の唯一の場なのです。

我らは、維新の志士。ほんの数枚の紙切れ。その中の小さな主張。その一つ一つが、大きなものを動かす原動力と成り得ます。
シェイクスピアでもゲーテでも嘲罵する無数のものを持つていて新聞を、共につくるうではありませんか。

薬味

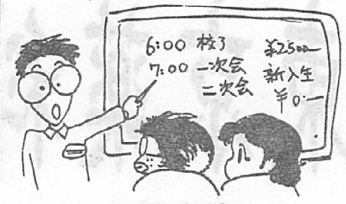


春うららかなる今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか？とりあえずありきたりですが、入学おめでとうございませう。さて、この「薬味」のコーナーは毎回コラム欄としてその役割を果たしてはいますが、この号では趣を一変し、インサイダーから見た新聞会の裏側について書いていきます。◆この「新聞会」という組織は一見、お堅いイメージを抱く方もいるでしょうが、実はat homeでbera(な雰囲気)を持っており、それぞれが最低のモラルを守りさえすれば基本的に何でも出来る場所です。一部の部活等では先輩にむりやり酒を飲まされてしまったという話をよく耳にしますが我々はそのようなことは一切ありません。◆新聞会の間はみんなそれぞれ個性的な人間であり、趣味も多種多様、考え方は千差万別、行動パターンは十色です。◆最近、このまま新聞会にのめり込んでいく自分自身に恐怖すら感じておられます。みなさまのお越しをお待ちしております。

昨年度の活動

- 4月 145号発行 新歓キャンプを終えてなど
新歓コンパ(八王子)
- 5月 146号発行 マラソン大会、国試結果など
- 6月 号外発行 学生自治会選挙結果など
執行交代コンパ(八王子)
- 147号発行 新執行委員長の決意表明
- 7月 148号発行 前期学生大会など
- 149号発行 薬祭特集号
- 8月 夏合宿(千葉・富津)
- 11月 150号発行 コンピュータ導入など
号外発行 薬祭特集号:PARTII
- 12月 151号発行 新歓祭実行委員会発足など
号外発行 後期学生大会、アンケート結果など
忘年会(新宿)
- 1月 追いコン(八王子)
- 3月 意識調査報告書発行
- 4月 意識調査報告書改訂版発行

制作過程



編集会議



面割り



取材



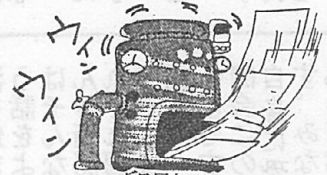
校正



ワープロ打ち
(文豪mini5H)



切り貼り



印刷
(オフセット)



発行

打ち上げ!!



だめんのうえにうかんではいるん
ぢめんがそらのしたしづん
ぢやないのかなっていまぼく
はおもってます。(くる)

編集後記

世界は昨日滅んだんだぜ
(ナハハ)

免許とったよお!めでたい
(Touch)

